

まちと連続する小さな住まい (2階)

モデルプランの特徴とメッセージ

住人がその時の天候や気分、または行事に合わせて空間を使える、小さくても選択性のある暮らしを提案します。道から寝室に至るまで連続的な空間で、外部への開放度が段階的になっています。住人がその場その時に合わせて使う場所を選択できます。(地域とより繋がりたい時は縁側や食堂、静かに本を読みたいときは居間など)別の空間に居ても空気が伝わるよう、また同じ空間に居ても1人にもなれるよう、床や天井の高さ、開口部を調整しています。それは外部との距離感や家族どうしの距離感を調整し、心地よい生活を送ることに繋がると考えています。

【いしかわ型復興住宅 5つの要件】 提案内容

① コミュニティ

食堂のコーナー窓・縁側はまちと繋がり、自発的な(受動的にも)コミュニケーションを誘導します。居間はそこから一段上げることで少し落ち着きを設け、そこから階段で2階の寝室へと連続していく計画としています。

② 景観 (まちなみ)

外壁は杉の羽目板、屋根は経済性を考慮し折板屋根を採用しました。既存のまちなみに色彩を合わせることで、折板屋根という異素材がアクセントとなるよう考慮しています。

③ 地域特性

雨や雪が多い能登の気候特性に合わせ、道に面して屋根付きの縁側を設けています。縁側が地域との接点となり、周辺住民との関係性を構築する1つの契機になればいいと考えています。

④ 住宅の基本性能

(耐震) 軸組構造+タテログパネルの耐震壁によって耐震性を確保します。(省エネ・環境負荷) 外壁はタテログパネル、屋根はグラスウールによって、断熱性能を確保します。また大きく出た屋根は夏季の強い日射を遮蔽します。

⑤ コスト (費用)

ローコストでも水準以上の居住性を実現するために以下を計画。①容積を最小限に抑える。②シンプルな軸組構造+タテログパネルで工期を短縮。③内壁はタテログパネルで内装材を省略。④折板屋根を採用し、垂木・野地板を省略。

提案プランの概要

構造・工法	木造・在来軸組工法+タテログ構法
延床面積・階数	86.12㎡ (26.1坪)・2階
標準工期	2ヶ月
設計	株式会社kyma
概算工事費	2,460万円 (税込)
施工	株式会社芳賀沼製作

主な外部仕上げ

屋根	折板屋根 (ガルバリウム鋼板)
外壁	スギ板縦張り 押縁押さえ
建具	複層樹脂サッシ

主な内部仕上げ

床	フローリング+クッションフロア
壁	スギ現し仕上げ、一部クロス仕上げ
天井	クロス仕上げ

概算工事費に含まれない費用

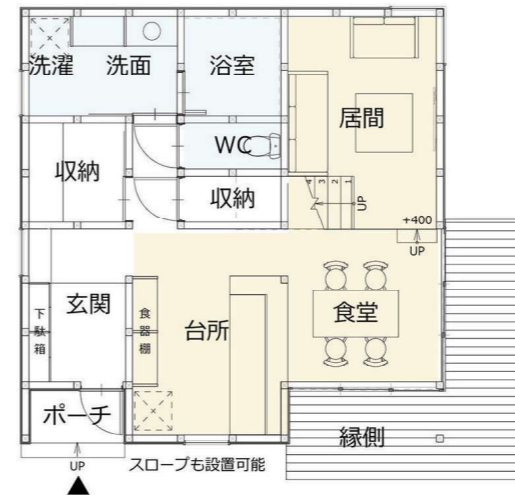
- ・地盤調査費
- ・外構工事
- ・屋外給排水工事
- ・エアコン
- ・登記に要する費用
- ・地盤補強工事
- ・屋外電気工事
- ・浄化槽設置費
- ・カーテン、家具工事
- ・諸手続き費用

施工者の基本情報 (連絡窓口)

代表社名	(株)芳賀沼製作	所在地	福島県南会津郡南会津町針生字小坂40-1 石川県輪島市河井町3-216-1	ホームページ2次元コード	
代表者	芳賀沼 伸	担当者	芳賀沼 克紀		
電話番号	0241-64-2221	E-mail	info@haganuma.co.jp		



平面図



立面図



2階平面図



内観パース



外観パース

